

急な頭痛やマヒ、認知症.... 「慢性硬膜下血腫」を疑って！

私、『慢性硬膜下血腫』を経験しました

皆さん体調管理してますか！！

慢性硬膜下血腫とは、どんな病気？

脳を包む膜（硬膜）と脳の表面の間に徐々に血のかたまり（血腫）が溜まる病気です。頭をぶつけるなどの頭部外傷が原因となることが多く、受傷から数週間～数ヶ月経って発症します。血腫が小さい場合は無症状のことがほとんどですが、血腫が大きくなって脳を圧迫するようになってくると徐々に症状が出現します。発症するまで時間がかかるため、本人は頭をぶつけたことすら忘れてしまう場合もあります。

こんな症状が要注意

- ・歩行がおぼつかない
- ・片側の手足が動かしづらい
- ・しびれ感、頭痛がする
- ・しゃべりづらい
- ・物忘れをするようになった
- ・ぼんやりして活気がない など

私が経験したこと

右手、右足の麻痺が異常のきっかけ

最初に右足の靴を履くのに手間取ったことに始まり、右手でパソコンのキーボードを打っても力不足で普通に入力できなくなり、紙に文字を書いても筆圧が出ずかすれた感じになりました。翌日は、右足の靴を履くまで更に時間がかかり、ソファから立ち上がり歩こうとした姿を妻が見て異常を感じたようです。

脳梗塞を危惧して病院に行く

妻に右手を差し出すように言われて差し出すと右手握力低下が判り、脳梗塞を危惧して血圧を測ると最高血圧が200を超えていたので、直ぐに病院に行き夜間診療を受診した結果、即入院、翌日手術になりました。

手術時間と入院日数

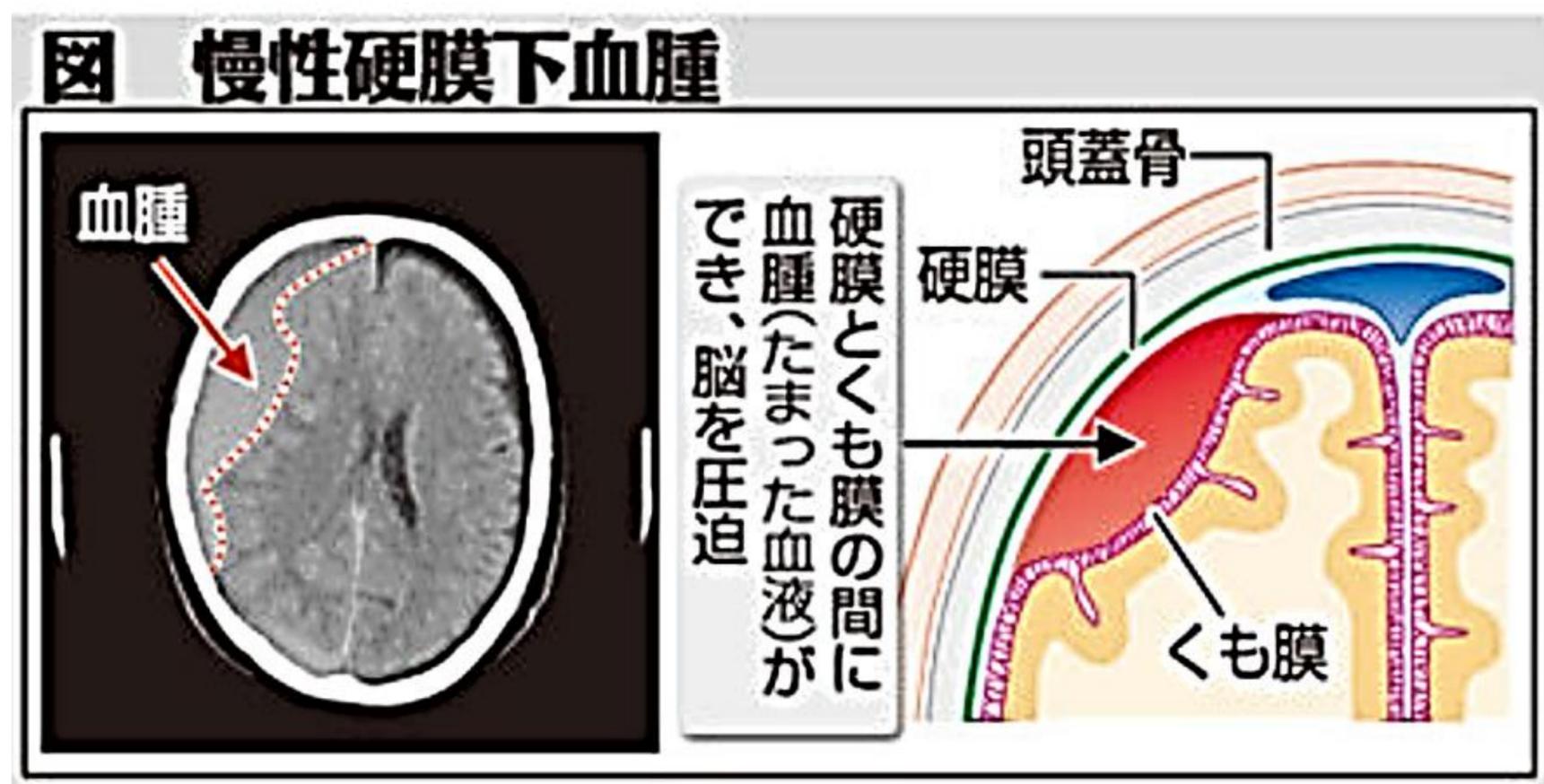
手術時間は30分程度、手術翌日には退院できました。

手術前に担当医から、硬膜下血腫は、早期発見し血腫を取り除くことで、ほぼ回復に至る（病やまい）です。と説明されました。

一見認知症と思えてもそうでない病気があり、それが慢性硬膜下血腫だとか

長期間放置して血腫が非常に大きくなった場合は、脳を強く圧迫し意識障害や呼吸状態の悪化、最悪の場合は呼吸停止をきたし命に危険が及ぶこともあります。

麻痺や認知の症状が急に現れたら、「歳のせいだ認知症がはじまったかな」などとそのままにせず、早めに医療機関を受診しましょう。



- 私が経験した病気、会員の皆様にも知って欲しいと思い、「慢性硬膜下血腫」について調べ、まとめてみました。